

エコパルなごや

冬号

VOL.69

かんきょうをたのしく学ぶ

特集

ESDについて考えよう

～持続可能な社会を支える担い手づくり～

みなさんはESDって聞いたことがありますか？

ESDとは「Education for Sustainable Development」の略で、ユネスコが中心となり進めている「持続可能な開発のための教育」のことで、持続可能な社会の担い手づくりの取組です。ESDに関するユネスコ世界会議が今年(2014年)の11月10日～12日に愛知県・名古屋市で開催されます。また岡山市でも11月4日～8日にステークホルダー(利害関係者)会合が開催される予定です。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。我々日本人は食料も足りて電化製品に囲まれて便利な生活をしていますが、人類は現在の生活を維持したまま将来も生きていけるでしょうか？

答えは、「ノー」です。

地球の人口は1950年には25億人だったのが2000年には60億人になりました。

たった50年で人口は倍以上増えました。

今後は、食料やエネルギーの逼迫、地球温暖化の進行、貧富の差の拡大、紛争の増加など人類が生きていく上での条件がさらに厳しくなることが予想されます。

これらの問題を解決しつつ発展していくためには、

みんなで考えること、自らの問題として捉え行動すること、

そしてみんなが「持続可能な社会」を支える担い手となっていくことが必要になってきます。



いろんな話題お届けします。

とくしゅう
特集

ESDについて考えよう

エコパル NEWS

特別ワークショップ「エコ・クッキング教室」、「真珠を使った貝ガラ工作」
「マンスリー企画展示」、エコパルなごやの紹介

ESDについて考えよう

今世界の人口はどんなことになっているのでしょうか

(ESDがなぜ必要なのか?)

20世紀後半の50年間で世界の人口は倍以上に増えました。2012年の世界の人口は70億5千万人です。ちなみに、日本の人口は1億2千7百万人で世界第10位です。

1位

中国

13億5千万人

2位

インド

12億5千万人

3位

アメリカ

3億1千万人

世界の人口はものすごいペースで増えています。人口増加に対応するためには、食料生産を増やし、工場生産を増やさなければならず、資源の消費はますます増えていきます。しかし、それに伴い温暖化や汚染が進み、地球が衰退していくことが心配されます。

こういったシナリオにならないように、今こそ持続可能な社会に向けてどうしたらいいのか、一人ひとりが考えて行動していかなければなりません。



ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)とは

国際連合にユネスコ(国際連合教育科学文化機関)という機関があります。諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際社会と人類の福祉の促進を目的とした専門機関です。



ユネスコ憲章

ユネスコ設立の意義を定めたもので、その前文には「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」との文言があり、教育や文化の振興を通じて、戦争の悲劇を繰り返さないとの理念がうたわれています。

現在の目標

(2008年～2013年ユネスコ中間戦略)

- 1 万人のための質の高い学習の実現
- 2 持続可能な開発のための科学的知識と政策の動員
- 3 新たな倫理的課題への取り組み
- 4 文化多様性と異文化間の対話の促進
- 5 情報とコミュニケーションを通じた包括的な知識社会の構築

主な事業

識字率の向上や義務教育の普及活動、世界遺産の登録と保護、文化多様性条約の採択、歴史的記録遺産を保全する世界の記憶事業、極度の貧困の半減、普遍的初等教育の達成、初等・中等教育における男女差別の解消、持続可能な開発のための教育、危機に瀕する言語の保護等



ESDってどういうこと?

「持続可能な開発」とは、「将来の世代のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような社会づくりのことを意味しています。即ち、環境の保全、経済の開発、社会の発展を調和のもとですすめていくこと」です。環境保全や資源の過剰利用の抑制の視点とともに、貧困の克服、保健衛生の確保、質の高い教育、性・人種による差別の克服等への配慮が必要とされています。「持続可能な開発」のためには、一人ひとりが、世界の人々と将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、行動を変革することが必要とされており、そのための教育が「ESD」です。

※内閣官房「国連持続可能な開発のための教育10年」「関係省庁連絡会議」HPより

ESDの経緯

- 2002年 持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）において、日本政府が“ESDの10年”を提唱。第57回国連総会で、「国連ESDの10年」を決議。
- 2005年 「国連ESDの10年（2005年から2014年）」がスタート。《愛知万博開催》
- 2009年 「国連ESDの10年」世界会議（中間年会合）がドイツ・ボンで開催。
- 第35回ユネスコ総会で2014年の最終年会合を日本で開催することを決議。
- 2010年 《生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）開催》
- 2011年 「閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合」開催地が愛知・名古屋に決定。



世界地域の課題

アラブ地域

平和と安全の欠如、貧困、非識字、乾燥と水危機、政治的不安定と人口の不安定、疾病

欧州と北米地域

貧富の差の拡大、平和への責任、文化的多様性、企業の社会的責任、天然資源の管理、気候変動

サハラアフリカ地域

エイズ、家族構造の変化、気候変動の脆弱性、食料の不足、紛争の増大

ラテンアメリカ地域

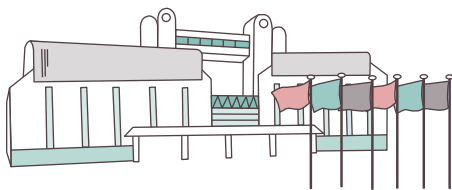
貧困問題、所得格差、社会的公正、熱帯雨林の管理

アジア太平洋地域

人口爆発問題、カースト制度の解消、男女平等、人身売買、紛争、大気汚染、砂漠化

それぞれの地域において共通のものや固有の課題があります。これらを解決していくため、学び、行動していくことが大切です。

ESDに関する ユネスコ 世界会議の概要



名称 持続可能な開発のための教育 (ESD) に関する

ユネスコ世界会議

主催 国際連合教育科学文化機関 (ユネスコ)、日本政府

開催時期 2014年11月10日～12日 閣僚級会合、全体会合等

11月13日 フォローアップ会合

岡山市では各種ステークホルダー (国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPO等) 会合開催予定

会場 名古屋国際会議場

参加規模 国内外の閣僚、政府関係者など約1000人を含む数千人規模

内容 「国連ESDの10年」の活動を振り返るとともに、2014年以降の方策を議論する

私たちのできること

私たちは恵まれた環境の中で生活していますが、まだまだ世界では厳しい状況にある国や地域があります。そういったことに関心を持ち、どうしたら人類が共存して発展していけるか勉強していくことが大切です。

ESD世界会議に向けて私たちにできることを考えてみましょう。

※参考文献：佐藤真久・阿部 治 編著「ESD入門」筑波書房



エコパルNEWS

特別ワークショップ

エコ・クッキング教室

エコ・クッキングとは、環境のことを考えて買い物、料理、片付けをすることです。当日は、エネルギーのことを考え、ムダの少ない料理方法を学んでいただきます。毎日ご家庭で続けられるエコ・クッキング、ぜひ始めてみませんか。

日時 ① 1月31日(金) 10:30~13:00 大人向け

② 2月5日(水) 10:30~13:00 大人向け

③ 2月8日(土) 10:30~13:30 親子向け

場所 今池ガスビル4階(名古屋市千種区今池一丁目8番8号)

対象 ①18歳以上 ②18歳以上 ③小学生の親子

定員 ①抽選28人 ②抽選28人 ③抽選14組
※申し込み受付中。締め切り1月17日(金)必着。

参加費 500円

申込 電話・FAX・Eメール
環境学習センターエコパルなごや
名古屋市中区栄1-23-13伏見ライフプラザ13階
TEL:223-1066/FAX:223-4199
e-mail:a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



真珠を使った貝ガラ工作

アコヤ貝から真珠を取り出し、貝ガラを使って写真たてと万華鏡を作ります。

日時 1月26日(日) 13:30~15:30

場所 エコパルなごや

定員 20名(要事前申込)
小中学生(小学生低学年は保護者同伴)

参加費 500円



マンスリー企画展示



企業やNPOの環境問題に関する取り組みを紹介する展示コーナーです。
月ごとに展示内容が変わりますので、毎月様々な展示をお楽しみいただけます。

1月 テーマ 「第8回環境絵画 コンクール作品展」

出展者 パナソニック エコシステムズ(株)

内容 パナソニック エコシステムズ(株)では、子どもの頃から環境について考える習慣を身に付けてもらうために、小学生を対象とした「環境絵画コンクール」を行っています。
第8回目となる今回は「水と生きもの」をテーマに、全国から応募のあった627点の中から選ばれた優秀作品10点の展示を行います。
子どもたちのすばらしいアイデアとメッセージをぜひご覧ください。

2月 テーマ 「リユース家具の 展示・販売」

出展者 名古屋市環境局減量推進室

内容 粗大ごみの中でも修理が容易な家具を修理・展示し、ご希望の方には入札により販売します。修理して使えるものは、なるべく長く使い、ごみを減らしましょう。

3月 テーマ 「平成25年版名古屋市 環境白書 表紙絵展示会」

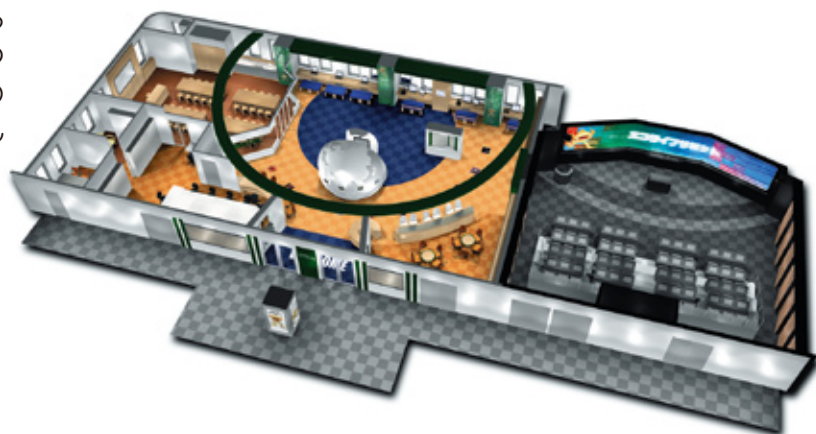
出展者 名古屋市環境局環境企画課

内容 平成25年版名古屋市環境白書の表紙絵募集として、市内の未就学児を対象に「～ひともしきものみんな笑顔のまち～」というテーマで表紙絵の募集を行いました。子どもたちの感性あふれる作品の展示を行います。

エコパルなごやを紹介します!

入館料、ワークショップ、バーチャルスタジオ、すべて無料!

エコパルなごやは、ゲームやクイズ、工作など、いろいろな体験をしながら、環境にやさしい行動へのきっかけをつくる場所です。社会見学や団体行事など、環境学習の機会にエコパルなごやをぜひご利用ください。もちろん個人でも自由に入れます(入館は無料)。



ワークショップ

実験や工作をしながら楽しく環境について学べます。

廃油せっけんづくり

そのまま排水溝に流せば水質汚濁につながる廃油で石けんをつくり、水の大切さや合成洗剤との違いを学びます。



においのひみつ

公害のひとつ「悪臭」を学びながらオリジナルポプリを作ります。



ストーンペイント

自然の石に絵を描きながら、環境に優しい暮らしや物について学びます。



バーチャルスタジオ

タッチパネルを使ってクイズに挑戦したり、コパちゃんと対話しながら環境について学びましょう。



コパのチャレンジ!エコライフ

普段の生活の再現VTRをタッチモニターで観て、10箇所のチェックポイントに挑戦!



この他にも、動物たちと写真を撮れる「クロマキースタジオ」や、図書ライブラリーなど盛りだくさん!ぜひ一度ご来館ください。お待ちしております!

みんなで遊びに来てね!



名古屋市環境学習センター
エコパルなごや

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階(地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅6番出口徒歩5分)
■開館時間/午前9時30分~午後5時 ■入館料/無料
■休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
年末年始(12月29日~1月3日)

お問い合わせ TEL 052-223-1066 FAX 052-223-4199
<http://www.ecopal.city.nagoya.jp/> E-mail: a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

この情報誌は、古紙/バブル配合率70%・白色度70%の再生紙を使用しています。

